

An aerial photograph showing a wide river on the left, a town with various buildings and a parking lot in the center, and agricultural fields and hills in the background. The sky is overcast.

福島県宮荻野漕艇場の紹介

喜多方市

1 喜多方市について

喜多方市は、福島県の北西部、会津盆地の北部に位置しており、盆地特有の気候により寒暖差が大きく、春夏秋冬がはっきりと感じられる地域です。北西には飯豊連峰、東には名峰磐梯山の頂を望む雄国山麓が裾野を広げ、南は阿賀川が流れる豊かな自然に恵まれています。

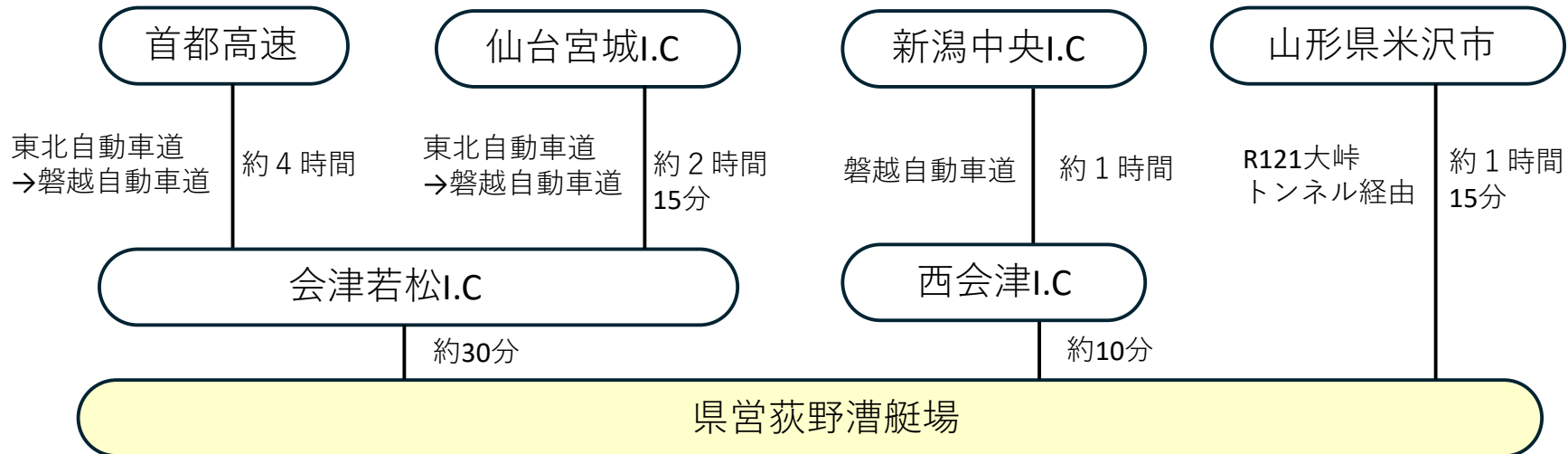
平成18年に当時の喜多方市、熱塩加納村、塩川町、山都町、高郷村が合併して現在の喜多方市になりました。地域ごとに豊かな資源があり、同じ市内であっても、様々な表情を楽しむことができます。

人口は40,259人（R8.4.1現在）、世帯数は15,925世帯（R8.4.1現在）となっています。面積は554.63平方キロメートルで、その67.7%が山林で、東部、西部、北部地域を中心に、山林が広がっています。一方、市の中心部から南部にかけては、平坦な地形で、市街地を囲むように、田園地帯が広がっています。

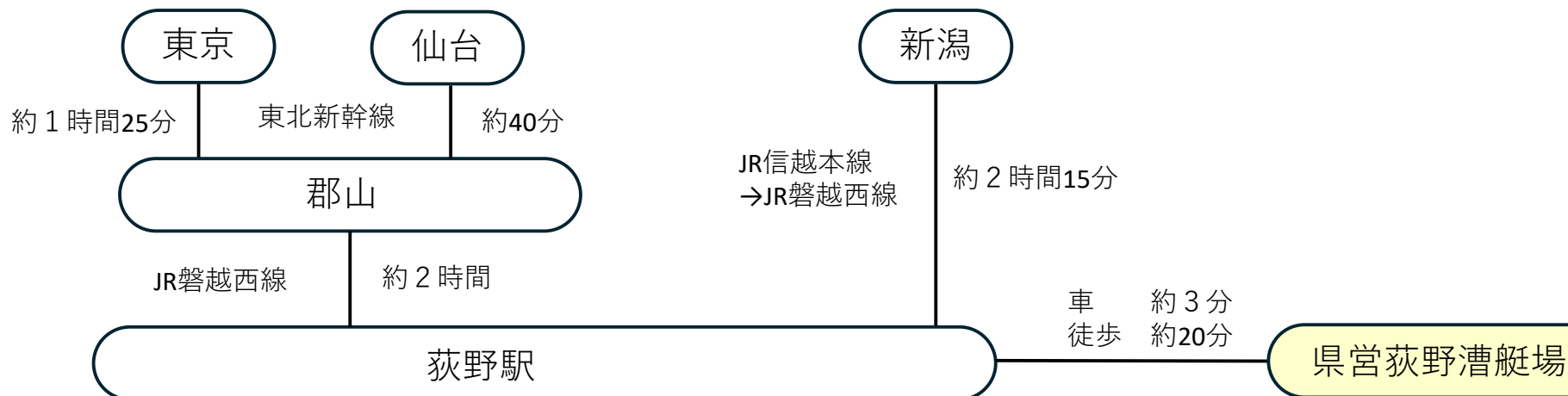


2 アクセス

🚗 車の場合 🚗

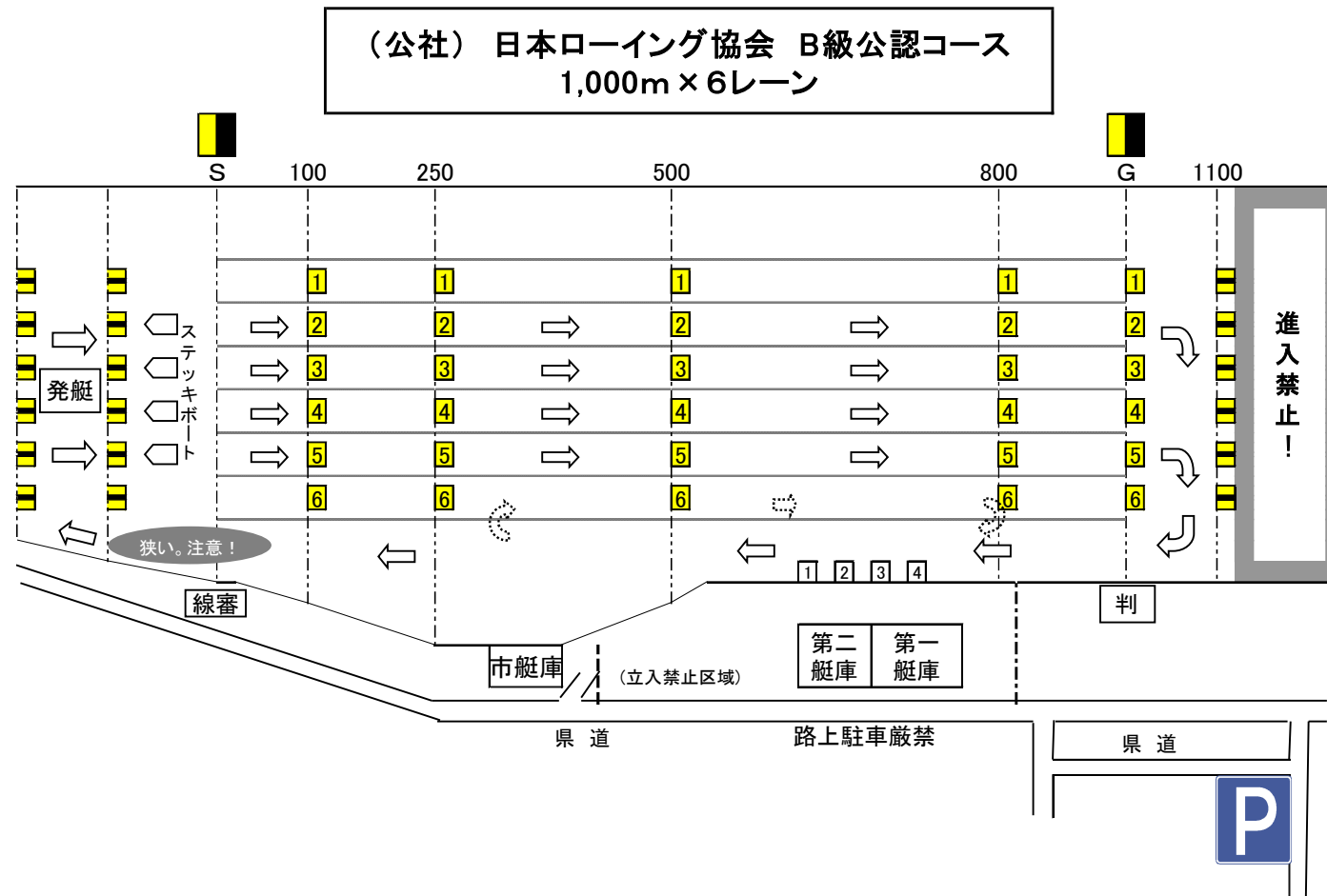


🚆 鉄道の場合 🚆



3 コース概要

荻野漕艇場は、第7回国民体育大会漕艇競技が福島県で開催されるのを契機に、昭和25年に開設されました。これまで数多くの全国大会、東北大会、県内大会等が開催されており、緑の水面美しい風光明媚なコースとして多くのオアズマンに愛されています。



4 艇庫と管理棟



【管理棟（写真：左）】

1階 事務室・トイレ

2階 貴賓室・会議室・シャワー室

【艇庫（写真：下）】（県有艇のみ）

シングルスカル 34艇

ダブルスカル 18艇

舵手付きフォア 4艇

ナックルフォア 6艇

※ 別途団体有艇・市有艇あり



5 施設利用の概要

- 申し込み・・・利用の日の5日前まで（電話、Faxでも予約可能）
利用時間・・・午前9時から午後7時
休 場 日・・・月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）
連 絡 先・・・0241-44-2122（Fax兼用）

艇 種	区 分	使 用 料 (1艇1時間につき)
シングルスカル	一般	120円
	中・高生	60円
ダブルスカル	一般	190円
	中・高生	90円
シェルフォア クォドルプル ナックルフォア レクリエーションボート	一般	250円
	中・高生	120円
	小学生	120円
エイト	一般	680円
	中・高生	320円

- ※ 大学生は一般料金です。
- ※ 利用時間が1時間に満たないとき又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間として計算します。
- ※ 障がい者個人の使用又は障がい者が半数以上の団体が使用する場合は、全額免除とします。

6-1 トレーニング施設

設備の名称	区分	使用料
トレーニング室	一般	(1人1時間につき) 220円
	小・中・高生	(1人1時間につき) 80円
シャワー室		(1人1回につき) 120円



6-2 トレーニング施設（運動機器）



7 合宿

飯豊山を望める荻野コースは、大自然に囲まれた波静かな静水のコースです。
毎年、夏休みになると首都圏から多くの高校や大学、社会人のボート部が合宿に訪れます。

宿泊施設紹介

●さいかち民宿組合●

漕艇場周辺に8軒の民宿があり、地元産の米や野菜を使った料理が自慢の民宿ばかりです。

問合せ・・・さいかち民宿組合長宅 民宿赤城

住 所・・・喜多方市高郷町上郷中惣利丙955

連絡先・・・0241-44-2703

温泉施設紹介

●ふれあいランド高郷●

車で5分のところに日帰り温泉施設があり、疲れた体を温泉でリフレッシュできます。

住 所・・・喜多方市高郷町揚津字袖山甲3054-9

連絡先・・・0241-44-2888

8 歴史

- 昭和25年・・・荻野漕艇場開設
- 昭和27年・・・第7回国民体育大会漕艇競技開催
- 平成7年・・・第50回国民体育大会漕艇競技開催
- 平成19年・・・第16回全国市町村交流レガッタ喜多方大会開催
- 平成20年・・・「ボートのまち喜多方」を宣言
- 平成28年・・・リオ・パラリンピック ボート競技日本代表クルーの国内最終合宿を受入れ
- 平成30年・・・復興ありがとうホストタウンの決定
- 令和元年・・・喜多方市ホストタウン交流事業「米国ボート協会との交流事業」



9-1 喜多方市の特産品

喜多方市は、そばの作付面積が全国4位（2021年）にランキングされるなど、地元のみならず全国的にも愛されるそばの産地です。

山間部を中心に秋ソバが栽培され、9月中旬には、可憐な純白の花が見られます。近年では、夏ソバの栽培にも取り組んでおり、一足早く新そばを味わえるようになりました。



喜多方ラーメンは、札幌、博多に並ぶ日本三大ラーメンの1つとされています。市内には約90店舗のラーメン店があり、様々な味を楽しめます。

基本的には醤油味ベースとされていますが、各店舗によって味もスープも千差万別です。麺も太さ、縮れ、コシも異なります。「平打ち熟成多加水麺」と呼ばれる一般的な麺より水分を多く含んだ麺が大きな特徴です。

塩川鳥モツの歴史は、昭和初期に養鶏業が盛んになったことをきっかけとして、金銭的に商売にならなかった部位の「鳥皮」を家庭で煮込んで食したことがルーツとされています。味わいは、噛めば噛むほどにうまさがあふれ出し、ごはんのおかずにも、お酒の肴にも、老若男女どなたにも楽しんでいただける料理です。



9-2 喜多方市の特産品



「100年フード」とは？

日本には豊かな自然風土や歴史に根差した多様な食文化が存在しており、文化庁では、その中で特に歴史性のあるものを文化財として登録する取組を進めていますが、全国各地には、比較的新しいものであることなどを理由に文化財として登録されない食文化があります。世代を超えて受け継がれ、長く地域で愛されてきたものが多く存在します。そのような食文化を「100年フード」と名付け、地域の関係者や地方自治体が100年続く食文化として継承することを宣言する「100年フード宣言」の取組を実施する事業です。

【認定基準】

100年フードに認定されるには、以下の全てを満たす食文化であることが条件。

- (1) 地域の風土や歴史・風習の中で個性を活かしながら創意工夫され、育まれてきた地域特有の食文化
- (2) 地域において、世代を超えて受け継がれ、食されてきた食文化
- (3) 地域の誇りとして100年を超えて継承することを宣言する団体が存在する食文化

～喜多方「100年フード」について～

喜多方市からは以下の3つの食文化が100年フードとして認定されています。

- 1 近代の100年フード部門「喜多方ラーメン」（令和3年度認定）
- 2 伝統の100年フード部門「山都そば」（令和4年度認定）
- 3 未来の100年フード部門「塩川鳥モツ」（令和5年度認定）

10-1 喜多方市の観光名所

「じゃらん」穴場な「しだれ桜・八重桜」名所ランキング1位（R8.3.4現在）となっている「日中線しだれ桜並木」は、昭和59年に廃線となった日中線の跡地の一部を遊歩道として整備したもので、南北に約3kmにわたって約1,000本のしだれ桜が植栽されています！

また、並木道内には、当時走っていたSLや、道の両側から桜が降り注ぐように咲いている、通称「桜のトンネル」があり、絶好の撮影スポットとなっています。

毎年4月の開花時期には、「喜多方さくらまつり」を開催しており、たくさんのお客様にお楽しみいただいております！



10-2 喜多方市の観光名所

源頼義の勧請とされる新宮熊野神社。拝殿の「長床」は、国指定重要文化財に選定されており、44本の太い柱に茅葺寄棟造りの荘厳な建物です。境内には樹齢800年以上といわれる御神木の「大イチョウ」があり、紅葉の見頃にはライトアップも実施され、落葉した黄色い絨毯と、長床の美しい光景を見ることができます。



喜多方市は豊かな地下水に恵まれ良質な米の産地で、酒・味噌・醤油などの醸造業などが盛んでした。蔵はそれらの事業に最適であり、粗壁・白壁・黒漆喰・煉瓦造などの様々な蔵が建ち並ぶようになりました。用途も多様で、現在も喜多方市内には約4,000棟ほどの蔵が散在するといわれ、かつての風情を残しています。

これだけ多くの蔵が建てられた理由の一つとして、かつて喜多方の男性は「40代で蔵のひとつも建てられなければ男ではない」と競うように蔵を建てたとも言われています。

11 緊急時の受け入れ態勢 (急な病気やケガの際の参考です。)

- 医療法人社団 日新会 入澤病院  約30分
福島県喜多方市蒔田3106番地の2 TEL：0241-22-0267
- 医療法人昨雲会有隣病院  約30分
福島県喜多方市松山町村松字北原3643-1 TEL：0241-24-5021
- 医療法人佐原病院  約30分
福島県喜多方市字永久7689-1 TEL：0241-22-5321
- 医療法人爽陽会 鳴瀬病院  約30分
福島県喜多方市字稻荷宮7307-1 TEL：0241-24-3333
- 坂下厚生総合病院  約15分
福島県河沼郡会津坂下町字上柳田2210-1 TEL：0242-83-3511

詳細や祝日・休日の場合は

喜多方 救急当番医



で検索！



12 お問い合わせ先

〒966-8601 喜多方市字御清水東7244番地 2
喜多方市教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興班
電話 0241-24-5327 / FAX 0241-25-7075
E-mail sports@city.kitakata.fukushima.jp

13 会津型とは？



喜多方の染型紙
会津型

喜多方の染型紙（会津型）は江戸後期から昭和初期にかけて、喜多方の小野寺家を通じて販売・製造された染型紙です。小野寺家の蔵に残されていた36,000点を超える型紙と彫刻刀などの道具類、帳簿や見本帳などは市に寄贈され、平成15年3月25日に「会津の染型紙と関係資料」として福島県の重要有形民俗文化財に指定されました。

14 ボートのまち喜多方



ボートのまち宣言

本市は、このボート場と喜多方の魅力ある地域資源を活用し、人と地域の交流を促進しながら経済的な地域活性化に結びつけるとともに、ボートを通して健やかな心と身体を育み、新たな賑わいを創造しながら、元気で活力に満ちたまちを実現する「ボートのまちづくり」を推進します。

ボートのまち宣言文

わたしたちのまち喜多方にある荻野漕艇場
2007年9月、全国市町村交流レガッタが開催され
地域を越えた友好と交流の輪が広がった。
風をきるボート
しぶきをあげるオール
仲間たちの歓声
連帯と交流の中に、ボートの魅力とレガッタの楽しさを共有した。
ここには、未来を拓く大きな可能性とエネルギーがある。
わたしたちは、ボートを通して
健やかな心と身体を育み
新たな賑わいを創造する。
今、市民が一体となって
元気で活力に満ちたまちをつくるため
ここに「ボートのまち喜多方」を宣言する。